



関屋小学校学校だより

令和7年 2月17日号

せきやっこ

関屋小学校 校長 中川秀男

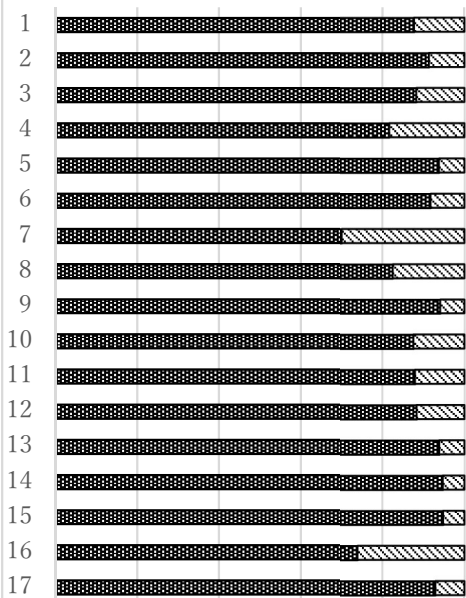
健康で明るい子 進んで行動できる子 よく考える子

学校評価アンケートにご協力いただき

ありがとうございます。

児童結果

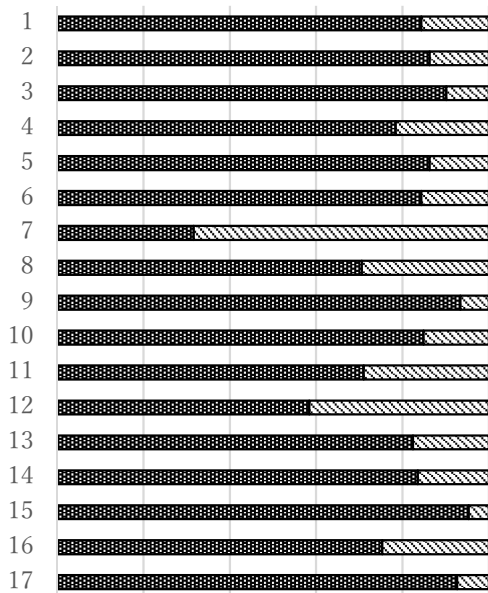
0.0% 20.0% 40.0% 60.0% 80.0% 100.0%



■ 肯定的 ■ 否定的

保護者

0% 20% 40% 60% 80% 100%



■ 肯定的 ■ 否定的

- ① 教育目標 ②教育課程 ③教室環境 ④学習規律 ⑤指導方法の工夫
⑥家庭学習 ⑦読書指導 ⑧体力向上 ⑨人権教育の充実 ⑩豊かな人間関係づくり ⑪挨拶運動 ⑫基本的な生活習慣 ⑬規範意識 ⑭問題行動の対応 ⑮生活習慣(朝食) ⑯生活習慣(早寝早起き) ⑰学校生活

④関小ガイドブックには、生活のきまり以外にも、学習中のルールも記されています。基本中の基本ですのでこれをしっかり身につけさせていきます。家庭でも参考にしてください。

⑦読書に関しては、「進んで取り組んでいるか」と問われると否定的な回答(保護者)が多かったです。低中学年では読書に親しむ時間を毎週計画的に取っていますが、自宅でゲームやスマホを置いて読書に親しむ姿が見られないのが現状ではないでしょうか。本の面白さ、楽しさを知っている人は進んで読みますので、今後も学校では本の面白さに触れさせていきます。ご家庭でもぜひご協力をお願いします。

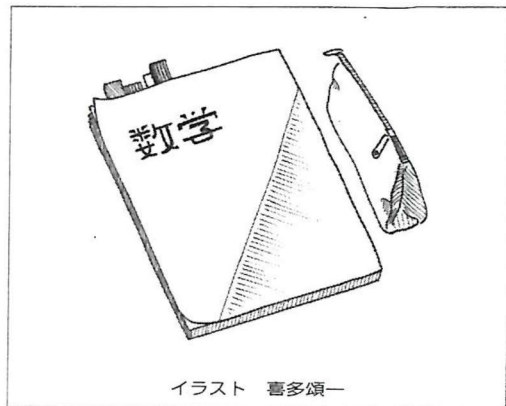
⑧進んで体を動かすことについて、保護者と児童との差が見られました。家では外で遊ばずに何をして遊んでいるでしょうか。学校の休み時間は外で運動している児童が多いです。

⑪児童は挨拶しているつもりでも、保護者や教員はまだまだだと思っています。立哨している方や教員にも元気に挨拶できる子どもに成長してほしいです。

⑫「時間のけじめをつける」「言葉遣い」「清掃」など、きちんとできる児童の成長を願い、何度も職員の話題に出してきました。学級や放送で指導したり、その場をとらえ指導したりしてきましたが、十分ではありません。粘り強く丁寧に身につけさせていきたいです。

⑯「早寝早起きの習慣」が身につけていないお子さんがいらっしゃり、朝から眠そうにしていたり、背中がぐにゃとなっていたりと気になります。高学年になると、習い事など忙しくなったりするかもしれませんが、睡眠時間をしっかり確保するようご家庭でご配慮ください。ゲーム、スマホ等の時間は1時間以内と保健だよりでもあったと思います。家庭でのルール作りをお願いします。

⑰「学校では楽しく過ごすことができている」という回答が児童93%でした。今後もみんなが楽しく気持ちよく生活できる学校をめざしていきたいと思っています。



第14回

親力について

塾内懇談会の時にこのことを話しました。しばらく考えておられ、「このままではためな人間になり

達成に必要な「思考」

宿題をやつてこない子

ケース90 約束事は守る
まったく宿題をしない中学2年生の男の子がいました。目に余るほどでした。
もちろん、授業後残してきていない分をさせるのですが、11時30分頃になると私の方が翌日の学校に影響しないかと思ひ帰らせてしまいます。

親力
勉強会

●90



若木 宏之

わかき・ひろゆき 昭和29年大阪府生まれ。立命館大学産業社会学部卒業後大手学習塾に入社。平成5年に豊原市にレッツ学習塾を開き、平成17年中和教育研究会を立ち上げて情報発信を開始。現在やまと私塾の会二代会長。

古い資料になりますが、是非お読みいただきたいです。
以前、低学年を担当していて、宿題をする意味を保護者や児童に説明し、必ずしてくるよう伝えた。しかし改善が見られず、保護者と懇談し「学習を定着させるために必ず取り組ませてほしい」とお伝えすると「子どもは神様からの贈り物なので、子どものしたいようにさせたい」と折り合うことができませんでした。放課後に残すことができない学校だったので、休み時間を利用し補習したのですが、追いつきません。結局、足し算や引き算、九九、漢字など定着が弱く、次の学年では大変な苦労ををされて親子で家庭学習に取り組まれました。
この資料は学校とは違い、塾という場での話ですが、子育てに共通する内容であると思ひ、添付しました。

らないよね。1週間前のことを思い出すのに時間がかかり、実際解けた問題は少ないし分からないまままだよね」と彼に提案しました。
「居残るのは同じことですよね」これには頭に来て、「誰のために苦勞しているのだ。君の成績を良くしたいだけなのだ。宿題は、教師と生徒の約束事です。生徒の成績を上げたいと切望する教師の手段です。それが分かっても出来ないのならもういいです」私が急に怒ったので彼はびっくりしたようです。とっさに「すみません」と謝りました。
その夜、お母さんに、私に言われたことを素直に話したようです。お母さんも「決まり事(約束事)は、何があっても守りなさい。」

守れない大人は、次第に人から信頼を失い誰からも相手にされなくなる」と職場の例をとって話をしたそうです。
お母さんは、さすがに私にきつく言われるとは思っていませんでした。
このシステムにしてから宿題が早く済むようになりました。1時間ほどでできるのです。集中するようになってきました。
これにより、学校の授業が分かるようになったと言っています。
後日、塾内の懇談会でお母さんから「勉強は学校の先生と塾の先生にお任せして、私は決まり事(約束)を守る子どもにしていきたいです。どのような組織に入っても必ず約束事があります。それを安易に破るのではなく、どうすれば守ることができるのかを考え行動に移せるような子に育てようと思ひます」と言われて、私の言いたかったことを理解していただいたのだとうれしく思いました。
子どもを育てるのには、いろいろな大人の力が必要です。親御さん自身も他人の意見を受け入れるだけの気持ちが必要です。冷静になり、事実を確認し、何が子どもに必要なかを見つけてそれを指導するようになればいいですね。